

平成 27年 05月 23日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

信濃長期優良型住宅

グループの名称

信濃長期優良住宅研究会

直近採択グループ番号

---

※過去に地域型ブランド化事業で  
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名	植田 広光	代表者印
代表者所属先	株式会社ウーノライフ	
代表者構成員番号	VII-1, VIII-1	
代表者所在地	長野県塩尻市大字広丘吉田384-2	
代表者電話番号	0263-87-1126	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社ウーノライフ	
事務局構成員番号	VII-1, VIII-1	
事務局担当者名	植田 広光	印
事務局郵便番号	399-0701	
事務局所在地	長野県塩尻市大字広丘吉田384-2	
事務局電話番号	0263-87-1126	
事務局FAX	0263-87-1240	
事務局担当者E-mail	u-nho.green@road.ocn.ne.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	信濃長期優良住宅
2. グループの名称(必須)	信濃長期優良住宅研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	植田 広光
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ウーノライフ
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VII-1, VII-1
9. グループ代表者所在地(必須)	長野県塩尻市大字広丘吉田384-2
10. グループ代表者電話番号(必須)	0263-87-1126
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ウーノライフ
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	VII-1, VII-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	植田 広光
14. グループ事務局郵便番号(必須)	399-0701
15. グループ事務局所在地(必須)	長野県塩尻市大字広丘吉田384-2
16. グループ事務局電話番号(必須)	0263-87-1126
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0263-87-1240
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	u-nho.green@road.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	14	原木供給事業者が海外である為、一部事業者の登録が出来ません。
II. 製材・集材製造・合板製造	17	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	6	
V. 設計	13	
VI. 施工	18	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	1	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	唐松、杉、檜、唐松集成材	長野県、茨城県、栃木県	合法木材証明制度	3	国内
	米松、米桐、米ヒバ、SPF、米松集成材	アメリカ、カナダ	合法木材証明制度	3	国外
	欧州赤松、欧州トウヒ、	欧州	合法木材証明制度	3	国外
	唐松、杉、檜	岩手県、徳島県、広島県	合法木材証明制度	3	国内
	唐松、杉、檜	和歌山県、岡山県、高知県	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)		地域材加算合計		地域材加算合計	
	経験工務店 + 未経験工務店の合計	33 戸			10 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	17 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	16 戸	地域材加算(うち申請が確定)	0 戸
	うち申請が確定	7 戸	うち申請が確定	4 戸		
	うち申請が未確定	10 戸	うち申請が未確定	12 戸		
	地域材加算(うち申請が未確定)			10 戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	12 戸	地域材加算合計		5 戸	
	うち申請が確定	2 戸	地域材加算(うち申請が確定)	0 戸		
	うち申請が未確定	10 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	5 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	0 戸	地域材加算合計		0 戸	
	うち申請が確定	0 戸	地域材加算(うち申請が確定)	0 戸		
	うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸		
	優良建築物					
	うち申請が確定	0 棟	0 m <sup>2</sup>			
うち申請が未確定	0 棟	0 m <sup>2</sup>				

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	当グループ割当ての棟数の1/2までは、申し込みの先後順で割り振る事を基本とするが、残り1/2は実績棟数の少ない工務店、特に未経験工務店に優先的に割り当てる。				
--	--	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸
木造建築物	竣工済	戸	竣工予定	戸
	採択棟数	棟	採択床面積	m <sup>2</sup>



























1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信濃長期優良型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 信濃長期優良住宅研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		◎、○ 記入欄
【平成27年度対応方針】		
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・北海道並みの寒さになるという内陸特有の気候なので、断熱性能を重視する家づくりとする。(長野県建築物環境エネルギー性能検討制度に基づき、指定の環境エネルギー性能評価を使用し建物のエネルギー性能の明確化し、複層ガラス樹脂サッシ、高性能断熱材を使用し省エネ化を図る) ・地震発生率が全国で最も高く、活断層もあるので、耐震性能を重視する家づくりとする。(構造を意識した設計ルールで柱の直下率と耐力壁の直下率を考慮する。)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	外壁、屋根、天井、床断熱、壁内結露対策を住宅省エネルギー技術者マニュアル添った施工の徹底。スケルトン住宅空間提案を積極的に行い、長期にわたり住宅ストックとしての使用価値を持ち続けるような空間可変に対応出来る様に、可変性を配慮した耐力壁をバランス良く配置する。(非住宅は除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・軒の出、庇による夏と冬の日差しのコントロール。立地条件、方位、通風計画に応じた最適な窓の配置、開閉の向きの考慮。(非住宅は除く) ・住宅形態、建物形状、方位別外皮性能による冷暖房計画に適したデザイン計画。 ・1階と2階の熱損失および日射取得の違いを考慮した空間計画。(非住宅は除く)	◎
④①～③の背景	・長野県中部は、日較差・年較差が海岸地方の比べて大きく、放射冷却で朝の最低気温が-15℃と北海道並みの寒さになるという内陸特有の気候です。又、日照時間は全国的にみても多く、平年の年間日照時間は瀬戸内海と並んで多い地域です。 ・30年以内にマグニチュード6.5以上の地震発生率が25.21%と全国で最も高く、糸魚川静岡構造線の1つの牛伏寺断層もあります。 ・長野県の高齢化率は28.3%と全国平均より高くなっていますが、有業率は38.5%と全国で最も高い地域です。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	長野県中部の風土に適すると共に環境、高齢者に配慮した家作りを目指す。 地盤調査5ポイント以上とし、地盤保証を付保する。 エネルギー消費量の少ない設備機器の選定、太陽光発電等による創エネルギーの利用を目指す。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		◎、○ 記入欄
【平成27年度対応方針】		
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	地域性やコスト削減の観点から、グループ内で標準仕様を定め、効率化に努める。 本グループは、軸組み工法、枠組工法施工店の混在する特殊性から木材の標準仕様は、グループ内で委員会を立ち上げ検討する事とする。	○
②建材・資材調達共同化や事務の合理化	設計、施工業者、流通業者合同でグループとして、地域型住宅に使用する建築資材の仕入れと物流の合理化、コストの低減化、省エネ対応商品の標準化を図る	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	施工事業者、設計事務所、流通事業者が「合理化検討委員会」を立ち上げ、定期的に住宅設備、建材メーカーを交えて建築資材の検討会を開催しより効率的な生産体制の整備を行う。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	事務局(設計事務所、流通業者)が窓口となり異業種接点を作り、情報交換が円滑に進める。 長期優良住宅の間取りから申請までサポートする。それにより、施工構成員がその工事の施工、施工管理に集中できる環境を整える。	○
b.		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	フラット35木造住宅工事仕様書、枠組壁工法住宅工事仕様書に準じた施工を行う。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルール設定	検査については、戸建住宅建設性能評価マニュアルを基に、事務局が用意したチェックリストを用いて行い、工事写真台帳を保管する。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	見積書の作成は、一式表示では内訳を明示すると共に、積算ルールの標準化をし、施主様にもわかりやすい見積書を作成。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	設計事務所と流通業者が事務局という本グループの特性を活かし、長期優良住宅普及促進の為、技術、申請等について相談出来る工務店向けの窓口と、長期優良住宅のメリット、住宅ローン金利優遇制度、税制優遇制度等を相談出来る一般施主様向けの窓口を事務局に設ける。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	高精度なプレカット加工の構造材製造等に関わる工事視察研修を行う。 メーカー主催の新商品の説明会の実施	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信濃長期優良型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 信濃長期優良住宅研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	○
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	○
その他	スクラップ&ビルド型住宅からストック循環型住宅へのシステム構築についての情報を発信する。	○
※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		○

エ. グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	◎
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	◎
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	○
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	○
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	○
その他	設計グループ中心となり、長野県建築物環境エネルギー性能検討制度による住宅のエネルギー性能の明確化をする。	○
※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信濃長期優良型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 信濃長期優良住宅研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	<p>①地域材ごとの使用部位(必須)</p> <p>軸組工法、土台:檜・唐松(合法木材 国内)、米ヒバ・米桐・米松(合法木材 国外)。「柱」:檜・杉(合法木材 国内)、米松・米桐・欧州赤松・欧州トウヒ(合法木材 国外)。「梁」:檜・杉・唐松・唐松集成材(合法木材 国内)、米松・欧州赤松、米松集成材(合法木材 国外)。 枠組壁工法、土台:米ヒバ・米桐・米松(合法木材 国外)。「縦枠、上下枠、頭つなぎ、床根太」:SPF、米松、米桐、米松集成材(合法木材 国外)。</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)</p> <p>軸組み工法の場合は、1棟あたり11m<sup>2</sup>(床面積40坪と想定) 主要構造部50%以上に地域材を使用。 地域材の割合:合法木材(国内、国外)100%</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>地域材(合法木材)を過半以上使用して、地域材は変形、収縮の少ない乾燥材とする。又、集成材を使用する場合は、強度等級がはっきりと分かる集成材を使用する事とする。地域材の使用は、合法木材(国内、国外)とし、長期優良住宅の普及に重点を置くこととする。</p> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>原木の一部においては国有林の競争入札によって原木の調達を行う場合、原木の出荷証明は無い事とする。合法木材の一部においては、産地、出荷者が多岐に渡り原木供給者の特定が困難な場合があるので、製材、集成材製造、合板製造、流通、プレカットに属する出荷者による合法性の証明によって代替する。 原木業者が海外業者である為本申請において、必要とされる本社会書は入手不可能であるため原木供給業者の登録を行っていない</p>	◎	
b	<p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p>事務局が中心となり地域材の供給グループの情報提供を行い、全構成員が情報を共有できる体制をとる。</p> <p>今年度45棟目標で1棟当たり10立米使用するとして450立米を需給予定</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用</p>	<p>該当ありません</p> <p>該当ありません</p> <p>該当ありません</p> <p>該当ありません</p> <p>長野県産材の代表的な唐松、杉、檜の使用を構造材、羽柄材、内装材への使用を広く提案して、周知活動を行う。</p>	○
d	<p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p>外部に木、瓦、漆喰など、内部に珪藻土などの自然素材の使用</p> <p>軒の出、庇による夏と冬の日差しのコントロール。通風計画に応じた窓の配置等の計画。</p> <p>地球温暖化防止と美しい街並み運動の一環として、「CASBEE戸建の良好な景観形成への積極的な配慮」の取組を行う。</p> <p>該当ありません</p>	○
その他	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>	<p>本グループは、未経験工務店の割合が多い為、事務局、設計グループ、維持管理委員会、合理化検討委員会が定期的に合同研修会を開き、サポートできる体制を作り、地域発展の為に地域型住宅の普及に努める。又、3年間の本グループの事業計画として、ゼロ・エネルギー住宅についても企画型モデルプランにおいて検討し、今後施工店がより高度な住宅作りに来年度挑戦出来るような環境作りの取組を行う。</p>	○

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地域の木材や資材の使用を推奨する	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

【認定低炭素住宅】

グループ全体で低炭素住宅に準じた取組を行い、省エネ対策等級4の適合に加え、省エネ設備LED照明、節水型トイレ、ユニットバス(高断熱浴槽)等と、高性能断熱材の標準仕様を定め、建物外皮の断熱性能を指標とした「次世代省エネ基準」から一歩進んで、建物全体でエネルギー消費量の削減を目指す。その他設置する設備機器については、エネルギー消費量削減効率の高い物を選択する。

緑地又は水面の面積が敷地面積の15%以上を目指す。

グループ提案の対象の地域区分は3~6地域を予定しています。

※ゼロ・エネルギー住宅については今回は取り組まないが、認定低炭素住宅の経験を踏まえて、挑戦していきたい。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。